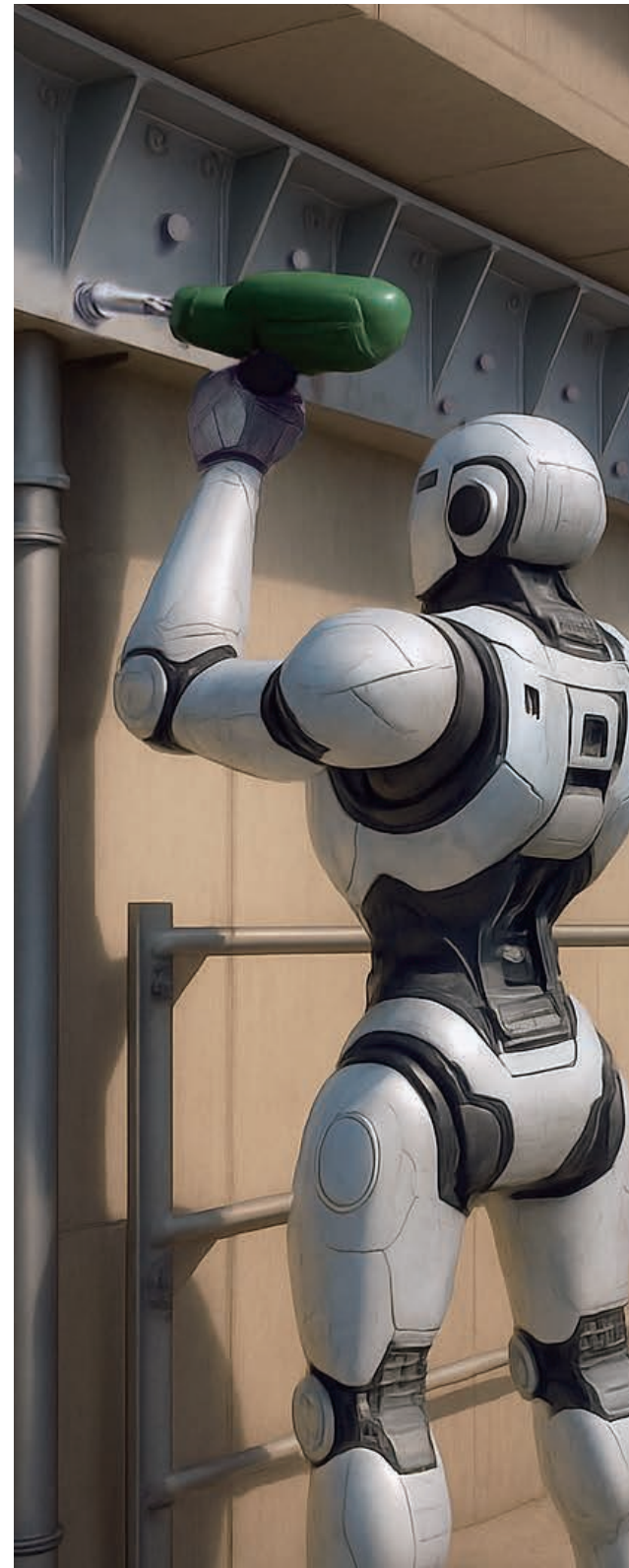
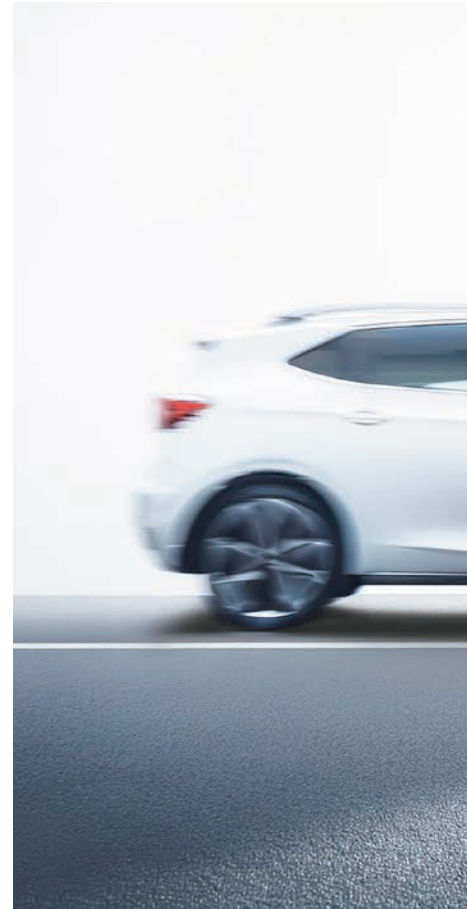




工事・試験事業のご案内



# Const- ruction and testing



【本 社】〒650-0044 兵庫県神戸市中央区東川崎町1丁目3番3号  
神戸ハーバーランドセンタービル20階  
TEL : 078-515-6788 FAX: 078-515-6789

【大阪支店】〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号  
TEL : 072-621-4164 FAX: 072-621-4166

【東京支店】〒123-0864 東京都足立区鹿浜3丁目4番3号  
TEL : 03-5838-0723 FAX: 03-5838-0724

【滋賀工場】〒520-3314 滋賀県甲賀市甲南町杉谷200番1  
TEL : 0748-86-8770 FAX: 0748-86-8771

[www.trust-gr.com](http://www.trust-gr.com)

ISO認証取得(本社・大阪支店・東京支店・滋賀支店)



MSA-QS-4931  
MSA-ES-1924



MS  
CM024



MSA-SS-451



登録内容 ISO45001 : 2018・JISQ45001 : 2018  
ISO9001 : 2015・JISQ9001 : 2015  
ISO14001 : 2015・JISQ14001 : 2015



Our Mind

交通インフラの

安全をつくり、  
安心をつくる

現場で培った“安全力”で社会に貢献します

TRUSTは、交通インフラである道路、橋梁、トンネル、鉄道など多様な構造物の耐震補強工事・補修・補強工事や非破壊検査を総合的に行っています。あと施工アンカー専門工事業としてスタートし、多くのご発注者からの「信頼」を重ね、対応工事を拡大し、現在1500社以上のお客様をサポートしております。

## TRUSTの工事・試験サービス

### 工事

#### 耐震補強工事 / 橋梁補修・補強工事

##### ■ あと施工アンカー工事 P05

##### ■ 土木工事

- ・変位制限装置 ..... P06
- ・炭素繊維シート ..... P06
- ・アラミド繊維シート ..... P06
- ・落橋防止 ..... P07
- ・支承取替 ..... P07
- ・せん断ストッパー ..... P07
- ・RC 巻き立て ..... P08

##### ■ 建築工事

- ・鉄骨ブレース補強 ..... P08

#### コンクリート工事

##### ■ コンクリート切断工事

- ・ダイヤモンドコア ..... P09
- ・ワイヤーソー ..... P09
- ・ウォールソー ..... P10
- ・ウォータージェット ..... P10

##### ■ コンクリート補修工事

- ・ひび割れ補修 ..... P10
- ・断面修復 ..... P11
- ・剥落防止シート(塗装) ..... P11
- ・伸縮装置取替 ..... P11

#### 交通安全施設工事

- ・遮音壁設置 ..... P12
- ・防護柵設置 ..... P12
- ・道路付属物設置 ..... P12
- ・道路標識設置 ..... P12

### 試験・調査・測定

#### 非破壊検査

- ・あと施工アンカー引張試験 ..... P13
- ・あと施工アンカーせん断試験 ..... P13
- ・アンカー長さ試験 ..... P14
- ・ボルト軸力試験 ..... P14
- ・付着力引張試験 ..... P14
- ・鉄筋探査 ..... P15
- ・超音波探傷試験 ..... P15
- ・X線探査 ..... P15
- ・リバウンドハンマー ..... P16
- ・ソフトコアリング ..... P16
- ・中性化深さ試験 ..... P17
- ・地盤支持力計測 ..... P17
- ・係船柱載荷試験 ..... P17
- ・板膜厚測定 ..... P18
- ・内視鏡による内部状況確認 ..... P18

#### 調査・計測(建設DX)

- ・アンカー位置計測 / VFORM ..... P19
- ・3D スキャン ..... P20

# 耐震補強工事／ 橋梁補修・補強工事

橋梁や建築物の耐震補強工事を行っています。平成8年度の道路橋示方書以前の基準で設計・建設された橋梁は、現行の耐震基準への適合が必要です。耐震改修促進法に基づき、特定建築物の補強工事を実施し、地震時の安全性を確保します。

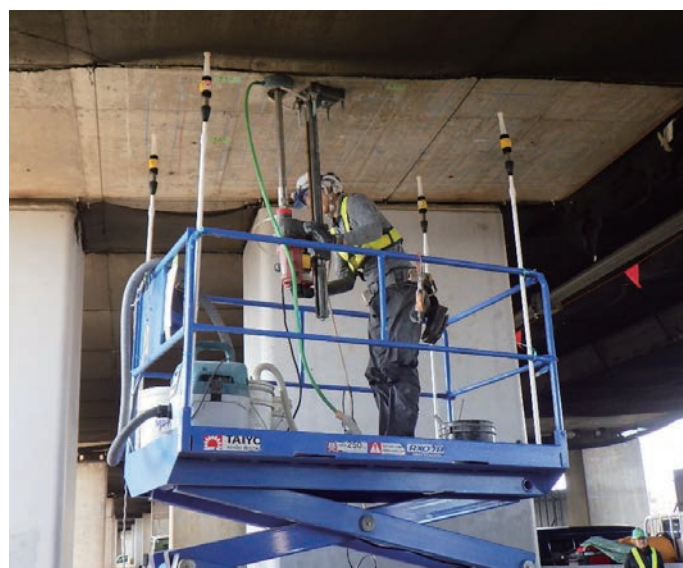
## あと施工アンカー工事



あと施工アンカー工事とは、既存のコンクリート構造物にドリルで削孔し、アンカーボルトを後付けして新たな構造物や設備を固定する工法です。アンカーボルトには、コンクリート打設前に設置する「先付けアンカーボルト」と、打設後に取り付ける「あと施工アンカーボルト」があり、後者はさらに「金属系アンカー」と「接着系アンカー」に分類されます。金属系アンカーは機械的に固定し、接着系アンカーは接着剤を用いて定着させます。これらの工法は、耐震補強工事や設備の増設、手すりや看板の設置など、さまざまな場面で活用されています。

特に耐震補強工事では、既存建物の柱や梁の補強に用いられ、建物の安全性向上に寄与します。また、設備機器の取り付け時には、空調設備や配管の固定、橋梁やプラントの補修工事など、多岐にわたる現場で利用されています。適切なアンカーの選定と施工管理は、安全で長寿命な構造物の実現に不可欠です。

さらに、リフォームやリノベーションの際にも活用され、既存構造物への新たな機能追加や強度向上を図ることができます。施工時には、コンクリートの強度や内部鉄筋の配置、かぶり厚さなどを考慮し、適切な施工方法を選択することが重要です。



## 土木工事



### 変位制限装置

橋桁の耐震補強工事では、地震時のずれや落下を防ぐため、コンクリートを削孔してアンカーボルトを固定し、ブラケットを取り付ける方法が一般的に採用されています。この工法は、変位制限装置工、落橋防止装置工として知られ、橋梁の耐震補強に広く用いられています。具体的な施工方法や使用する部材は、橋梁の構造や設計条件によって異なるため、詳細な設計図面や専門家の指導に基づいて適切な手順を確認することが重要です。



### 炭素繊維シート

炭素繊維は、鉄と比較して比重が約1/4と軽量であり、引張強度も鉄の約10倍と非常に高い強度を持つ素材です。これらの特性により、炭素繊維は建物や橋梁などのコンクリート構造物の補修・補強に広く使用されています。さらに、炭素繊維は耐腐食性に優れ、長期間の耐久性が期待できます。また、軽量で施工性に優れ、腐食を生じないといった特徴を有しています。



### アラミド繊維シート

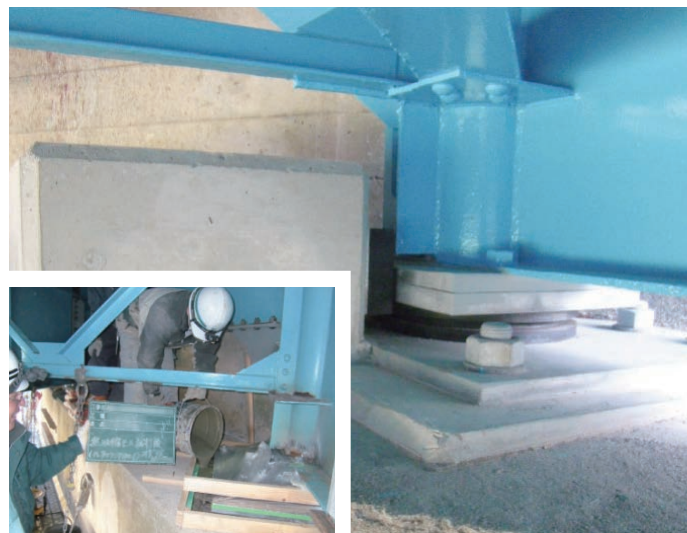
アラミド繊維シートは、強靱で柔軟性が高く、フィラメントが折れにくい特性を持つ補修・補強用の材料です。非導電性のため、鉄道や地下鉄、電気室など、電気事故のリスクが懸念される現場での施工に適しています。さらに、耐熱性や耐薬品性にも優れており、高温環境や腐食性のある場所でも使用可能です。その特性から、コンクリート構造物の耐震補強や劣化対策として幅広く活用され、長期的な安全性向上に貢献します。



### ■ 落橋防止

落橋防止装置は、地震時に橋桁と橋脚、または橋桁同士を連結・固定することで、橋桁の落下を防止する役割を持ちます。具体的な装置としては、PCケーブル型落橋防止装置があり、これは相互の桁および桁と橋台をPC鋼より線で連結し、地震時に大きな変位が発生した場合に落橋を防止します。

また、落橋防止装置の構造として、橋台や橋脚と橋桁を連結し、地震発生時に橋桁が落下するのを防止するものがあります。



### ■ 支承取替

支承装置取替工法は、橋梁の上部構造（橋桁）と下部構造（橋脚・橋台）をつなぐ支承を交換する工法です。支承は橋の自重や交通荷重を支え、下部構造に荷重を伝達する重要な役割を担います。劣化した支承を放置すると、安全性や耐久性に影響を及ぼすため、定期点検と交換が必要です。交換時はジャッキアップ工法で橋桁を持ち上げ、支承を取り替えます。これにより橋梁の機能が回復し、長寿命化と交通の安全性向上につながります。



### ■ せん断ストッパー

せん断ストッパーは、橋梁の橋軸方向および直角方向の変位を制限し、浮き上がりを防ぐ装置です。これにより、地震時の橋桁の過度な移動や衝撃を抑え、橋梁全体の安定性と耐震性を向上させます。主にゴムや鋼材を用いた構造で、支承と併用することで橋の安全性を強化します。特に大規模地震時の落橋防止対策として重要であり、橋梁の長寿命化や維持管理の観点からも有効な手段となります。



### ■ RC 巻き立て

RC巻き立て工法は、既存のコンクリート構造物、特に橋脚を補強するための工法です。まず、フーチング部に穿孔してアンカーを定着し、そのアンカー筋を利用して鉄筋を組み立てます。次に、型枠を設置し、コンクリートを打設することで、一体化した補強層を形成します。これにより、橋脚の剛性や耐力が向上し、耐震性や耐久性の強化につながります。

## ■ 建築工事



### ■ 鉄骨ブレース補強

鉄骨ブレース補強工法は、既存建物の柱や梁で囲まれた構面内外に、枠付き鉄骨ブレースを設置することで耐震性能を向上させる工法です。主にあと施工アンカーや溶接を用いて既存構造へ確実に固定し、建物の剛性を高めます。これにより、地震時の揺れを効果的に抑制し、柱や梁への負担を軽減しながら構造全体の安定性を向上させます。

また、ブレースの形状や配置は建物の用途や構造に応じて選定され、工場や倉庫、オフィスビルなど幅広い建築物の耐震補強に活用されています。補強工事の際は、建物の使用状況に応じて適切な施工計画を立てることで、業務への影響を最小限に抑えつつ、安全性の向上を実現します。さらに、施工時には振動や騒音の対策を講じることで、居住者や利用者への影響を抑えながら工事を進めることが可能です。

# コンクリート工事

環境に配慮した低騒音・低振動の解体工法を採用し、周辺環境やテナントへの影響を最小限に抑えます。また、コンクリート構造物のひび割れ補修・補強工事を行い、耐久性を向上させ、将来的な大規模修繕の必要性を低減します。

## コンクリート削孔工事



### ■ ダイヤモンドコア

ダイヤモンドコア工法は、ダイヤモンドビットを用いてコンクリートや鉄筋コンクリート(RC)、鉄骨鉄筋コンクリート(SRC)などの硬質材料に高精度な穴を開ける技術です。低騒音・低振動・低粉塵で環境への影響が少なく、配管・配線の貫通工事、アンカー設置、耐震補強工事、解体工事、コア採取など幅広い用途で活用されています。

この工法には湿式と乾式があり、湿式は水を使用して粉塵の発生を抑え、ビットの冷却と摩耗軽減を図ります。乾式は汚水処理が不要ですが、粉塵対策が必要です。鉄筋に当たっても切削可能で、短時間で穿孔でき、仕上がりが滑らかなため補修の手間がかかりません。チューブを延長すれば深い穿孔も可能です。高精度・高効率なダイヤモンドコア工法は、建築・土木工事に不可欠な技術として多くの現場で採用されています。



### ■ ワイヤソー

ワイヤソー工法は、低騒音・低振動で、複雑な形状の構造物の解体・改修に適した切断工法です。湿式は冷却水を使用し、切断時の熱や粉塵を抑え、ダイヤモンドビーズの焼き付きを防止して精密な切断を実現します。乾式は水が使えない環境でも施工可能で、粉塵は集塵機との併用で抑制されます。いずれも高精度かつ安全な切断が可能です。



### ■ ウォールソー

ウォールソー工法は、レール上を移動するダイヤモンドブレード装着の切断機で、コンクリート構造物を正確に切断する工法です。壁・床の開口部や耐震改修、平面部の切断に適しています。冷却水で粉塵や熱を抑える湿式と、水の使用が制限された場所でも施工可能な乾式があり、集塵機併用により環境負荷を低減します。いずれも低騒音・低振動で、改修・解体工事に広く利用されています。



### ■ ウォータージェット

ウォータージェット工法は、超高圧水で対象物を破砕・切断する技術で、コンクリートの解体や補修、塗膜・錆の除去などに活用されます。低騒音・低振動で周囲への影響を少なくできます。複雑な形状や狭いスペースでの作業にも適し、高精度な切断・除去が可能のため、多くの分野で採用されています。

## コンクリート補修工事



### ■ ひび割れ補修

ひび割れ補修は、コンクリート構造物に生じたクラックにエポキシ樹脂やポリウレタン樹脂を低圧注入し、強度回復や耐久性向上を図る工法です。橋梁やトンネル、建物の基礎などのインフラ維持に重要で、劣化防止や長寿命化に貢献します。構造物の安全性を確保し、さらなる損傷を防ぐため、定期的な点検と適切な補修が求められます。

# 交通安全施設工事

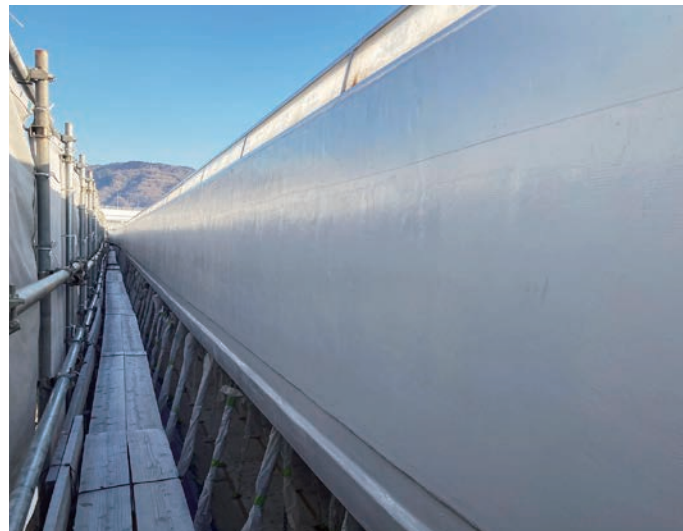
遮音壁や防護柵などの道路・橋梁付属物の施工を行っています。道路・橋梁インフラ設備における付属物の設置には、あと施工アンカーが広く使用されています。弊社の有資格者が責任を持って施工し、安心・安全な取付を実現します。

## ■ 断面修復



劣化したコンクリートの欠損部を適切な材料で補修し、耐久性を回復させる工法です。劣化部分をはつり取り、ポリマーセメントモルタルなどを用いて断面を復元します。主な方法には、コテで塗る左官工法（小規模向け）、型枠を設置しモルタルを注入するモルタル注入工法（大規模向け）、モルタルを吹き付ける吹付け工法（広範囲向け）があり、状況に応じた適切な工法が選ばれます。

## ■ 剥落防止シート（塗装）



凍害、中性化、塩害などで劣化したコンクリート構造物の表面を、繊維シートや塗膜で補強・保護し、コンクリート片の剥落や落下を防ぐ補修工法です。トンネルや橋梁などのインフラ施設で広く活用され、利用者や周囲への安全性を確保します。さらに、外部からの劣化因子の侵入を抑制し、耐久性を向上させる効果もあります。適切な施工により、構造物の長寿命化が可能となります。

## ■ 伸縮装置取替



伸縮装置は、橋梁の桁端部に設置され、構造の変位に対応しながら車両が安全に通行できるようにする装置です。現地調査を行い、状況に応じた施工が求められます。施工時間が限られるため、スケジュール管理も重要です。具体的な施工手順としては、既設の伸縮装置の撤去、コンクリートのはつり、伸縮装置の据付（型枠設置、早強コンクリート打設、止水材や支持金具の取り付けを含む）などが含まれます。

## ■ 遮音壁設置



遮音壁は、道路や鉄道沿線に設置され、交通騒音を低減し、沿道の住環境を改善する役割を持ちます。遮音効果を最大限に発揮するため、適切な材料の選定や設置方法が重要です。また、設置場所の条件に応じて、吸音材や遮音パネルなどを検討する必要があります。

## ■ 防護柵設置

防護柵設置工事とは、道路や橋梁、歩道などにガードレールやフェンス、転落防止柵を新設・交換することで、車両の衝突防止や歩行者の転落防止を図り、安全性を確保する工事です。



## ■ 道路付属物設置

道路付属物には、防球ネット、道路反射鏡、車止め、視線誘導標などが含まれ、これらの設置により道路の保安全や交通の安全・円滑化が図られます。道路付属物設置工事には、遮音壁やフェンス、カーブミラーなどの設置も含まれます。

## ■ 道路標識設置

道路標識設置工事は、安全で円滑な交通を確保するため、案内標識、警戒標識、規制標識、指示標識、補助標識などを新設・交換する工事です。特に高速道路では、5メートルを超える大型標識板の設置も行われます。



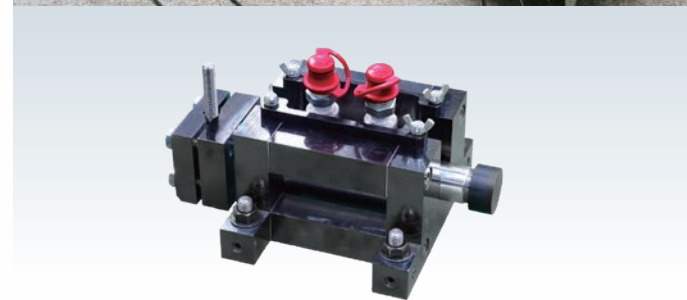
# 非破壊検査

構造物の経年劣化による災害リスクを防ぐため、多様な非破壊検査を実施しています。資格試験に合格した有資格者が、ガイドラインに沿って行っています。また、(一社)日本建設あと施工アンカー協会(JCAA)が付与する資格保有者がアンカー引張強度試験を担当します。



## ■ あと施工アンカー引張試験

「あと施工アンカー引張試験」は、施工後のアンカーの品質を確認し、構造物の安全性を確保するための重要な検査です。油圧式やデジタル式の試験機を用い、異形鉄筋の試験や変位測定など、多様な引張試験に対応しています。この試験により、アンカーが設計仕様に適合し、十分な耐力を有していることを確認します。建設現場での品質管理や安全性の確保には欠かせないプロセスであり、適切な試験方法の選定と精度の高い測定が求められます。試験結果を基に施工の適正を判断し、必要に応じて補修や補強を実施することで、より安全な構造物の実現につながります。



## ■ あと施工アンカーせん断試験

あと施工アンカーのせん断試験は、アンカーボルトの軸に直角方向の荷重を加え、母材コンクリートに固定されたアンカーの構造性能や固着性能を評価する非破壊検査です。この試験は、アンカーの強度確認や施工品質の管理に不可欠であり、引張試験と併用することで総合的な安全性評価が可能となります。特に、耐震補強や大型設備の固定など、強度が求められる現場で実施されます。適切な試験方法を選定し、測定結果をもとに必要な補強や補修を行うことで、建築物や土木構造物の信頼性を確保し、長期的な安全性向上に貢献します。



## ■ アンカー長さ試験

施工後のアンカーボルトの長さを非破壊で測定する重要な検査です。主に超音波パルス反射法を用い、超音波の反射時間を計測して長さを算出します。これにより、設計通りの定着長さや施工不良の有無を確認できます。特に、橋梁や高層建築物の安全確保や品質管理に不可欠です。測定には周波数5MHzの垂直探触子を使用し、試験片を用いた調整で精度を確保します。適切な試験方法と機器の選定が求められます。



## ■ ボルト軸力試験

ボルト軸力試験は、被締結部材の破壊や塑性変形によるボルトの緩みを検査し、適切な軸力が確保されているかを確認する試験です。ボルトの締付けトルクと軸力の関係を評価し、締結部の信頼性を確保します。適切な軸力管理は、ボルトの緩みや部材の破損を防ぐために不可欠であり、トルクレンチを用いたトルク管理が重要です。特に、橋梁や建築構造物の安全性維持において欠かせない試験の一つとされています。



## ■ 付着力引張試験

付着力引張試験は、外装材や外壁補修工事において塗膜の品質を評価する重要な試験です。専用の試験機を用いて塗膜を基材から剥がれるまでの付着強度を測定します。これにより、塗装の密着性や耐久性を確認し、施工品質の確保が可能となります。特に、外壁塗装や補修工事において、適切な塗料選定や施工方法の検証に活用されます。正確な試験を実施することで、建物の長寿命化や安全性の向上に貢献します。



### ■ 鉄筋探査

鉄筋探査は、コンクリート構造物の非破壊検査として、電磁波レーダ法や電磁誘導法を用いて、鉄筋の位置、配筋状態、かぶり厚さを調査する技術です。これにより、コンクリート削孔時の鉄筋切断や埋設物の損傷事故を未然に防止し、構造物の安全性と品質を確保します。特に、電磁波レーダ法は、コンクリート内部の鉄筋や空洞の位置を高精度で検出できるため、広く活用されています。



### ■ リバウンドハンマー

リバウンドハンマー試験は、コンクリート構造物の強度を非破壊で測定する方法です。専用のリバウンドハンマーを用い、コンクリート表面を打撃して反発度を測定し、圧縮強度を推定します。この試験は簡便で迅速に実施できるため、施工後の品質管理や劣化診断に広く活用されています。ただし、測定結果は表面状態や含水率の影響を受けるため、他の試験と併用し、総合的な評価を行うことが重要です。



### ■ 超音波探傷試験

超音波探傷試験 (UT) は、非破壊検査の一種で、超音波を用いて金属材料や溶接部などの内部欠陥を検出する方法です。探触子から発信された超音波が材料内部を伝播し、欠陥に当たると反射波として戻ります。この反射波の強さや伝播時間を測定することで、欠陥の位置や大きさを特定します。超音波探傷試験は、内部欠陥の検出、厚さ測定、材料評価などに広く利用されており、非破壊で高精度な検査が可能です。



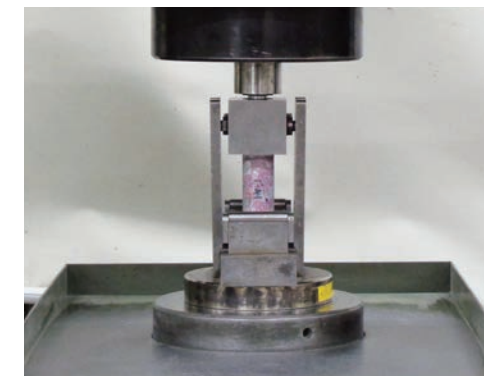
### ■ ソフトコアリング

ソフトコアリングは、小径のコアを採取し、圧縮強度に補正指数を適用してコンクリート強度を評価する非破壊検査法です。従来のコア採取に比べて構造物への影響が少なく、精度の高い強度推定が可能です。この方法により、既存コンクリート構造物の強度を効率的に調査でき、補修や補強計画の判断材料として活用されます。特に、耐震診断や老朽化したインフラの評価に有効で、安全性向上に貢献する検査手法です。



### ■ X線探査

X線探査は、コンクリート内部の鉄筋や電線管、配管などの埋設物を非破壊で確認する検査方法です。X線を照射し、裏面のフィルムに内部の状況を映し出し、現像後に解析することで正確な位置や深さを把握します。これにより、コア抜き工事やアンカー施工時の損傷リスクを低減できます。レントゲン撮影と同様の原理で、約300mmの厚さまで探査可能です。現場で即時に確認できるため、工期短縮にも貢献します。





### ■ 中性化深さ試験

中性化深さ試験は、コンクリート中性化の進行度を評価するための非破壊検査であり、コンクリート構造物の耐久性評価や劣化調査に活用されます。本試験では、ドリルで採取した切粉や小径ハンドコア、ダイヤモンドコアを用いて、内部の中性化が進行した深さを測定します。建築や土木分野におけるコンクリート劣化診断や補修計画の立案に不可欠な調査であり、橋梁、トンネル、ビルなどのインフラの維持管理において重要な役割を果たします。



### ■ 地盤支持力計測

地盤支持力の評価方法として、平板載荷試験やスクリーウエイト貫入試験(旧スウェーデン式サウンディング試験)が一般的に用いられています。これらの試験結果は、地盤の許容支持力度の算定や、適切な基礎設計、必要に応じた地盤改良工法の選定に活用されます。地盤の特性を正確に把握することで、建築物の安全性と耐久性を確保することが可能です。構造物の安全性と耐久性を確保するために不可欠なプロセスです。



### ■ 係船柱載荷試験

係船柱載荷試験は、港湾施設の安全性と耐久性を確保するために行われる重要な試験です。本試験では、アンカーボルトで固定された係船柱に設計荷重を加え、構造の異常や耐久性確認を実施します。試験方法は、依頼内容や設計図書に基づいて調整され、適切な品質管理のもとで実施されます。試験方法には、静的荷重試験や動的荷重試験があり、設計条件や現場状況に応じた適切な手法が選択されます。



### ■ 板膜厚測定

鉄・非鉄金属や非金属表面の被膜厚さを非破壊で測定する方法です。電磁誘導式や渦電流式、超音波膜厚計などがあり、測定対象に応じ適切な方式を選択します。特に超音波膜厚計は塗装やゴム層の測定が可能です。塗装厚さの測定により製品の耐久性を確保し、適正なコスト管理を実現します。



### ■ 内視鏡による内部状況確認

内視鏡調査は、看板内部の錆・腐食、部材の変形や緩みを非破壊で点検する手法です。高所や狭小部の安全な点検に適し、道路標識や広告塔の定期点検にも活用されます。調査結果は画像・動画で記録し、補修計画に活用されます。

# 調査・計測（建設DX）

デジタル技術を活用し、業務の効率化と生産性向上に取り組んでいます。業務プロセスの短縮、安全性の向上、品質管理の徹底が可能となります。デジタルトランスフォーメーション(DX)を推進することで、業務改善を実現しています。

## ■ アンカー位置計測 / VFORM

NETIS 登録番号 **KT-140108-VE**  
特許第 5492343 号



VFORMを使用し、アンカーボルト位置等の図面化を自動で行います。

従来は手作業で計測を行い、CADを用いて図面化していましたが、自動で行うため、素早くミスなくデータ化することができます。

トラストオリジナル治具は特許出願中。

トラストオリジナル治具で  
ずれを防止



オリジナル治具は特許出願中

### 測定自動化の特長とメリット(手作業との比較)

計測時間を

**77%短縮!**

本システムのユーザー実績による

計測後の後作業時間を

**67%短縮!**

本システムのユーザー実績による

**1人での  
計測が可能に!**

**計測作業の  
ミスを削減!**

### 作業の流れ



#### 1. ターゲット(目印)を設置

オリジナルの治具により、正確にアンカーボルトの中心にターゲットを設置できます。



#### 2. カメラで撮影

デジカメで数枚の写真を撮影します。

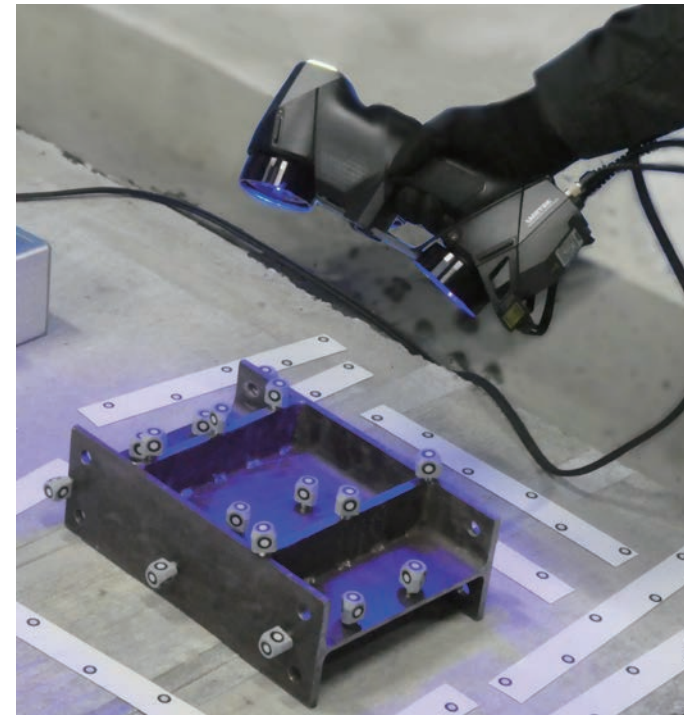


#### 3. CAD図面の出力

CAD図面が出力されます。

## ■ 3D スキャン

NETIS 登録番号 **KK-250002-A**



現地調査において、**3Dレーザースキャナーで構造物の正確な3Dモデル作成し、図面作成や解析を行います。**

ハンディ型3Dレーザースキャナーは、軽量で持ち運びが容易なため、複雑な形状や狭い空間の計測に適しています。取得したデータは3DCADで活用でき、正確な図面作成や解析が可能ですので、既設構造物の寸法を正確に計測して、作業に支障が出ないかなどの調査に最適です。

手作業の計測では、誤差が発生しやすく、かつ時間も要するため、これにより効率的な現地調査が可能です。



スマートグラスとPCが専用コントローラ経由で無線通信しスキャン状態を確認しながら作業できます。

計測に要する時間を  
**75%短縮!**

スキャン精度  
**0.025m**

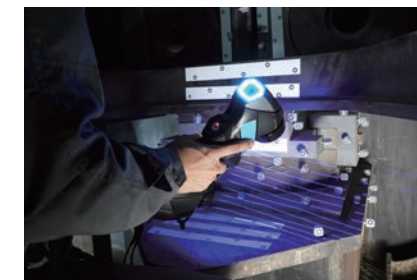
スキャン範囲  
**310×350mm**

### 計測の流れ



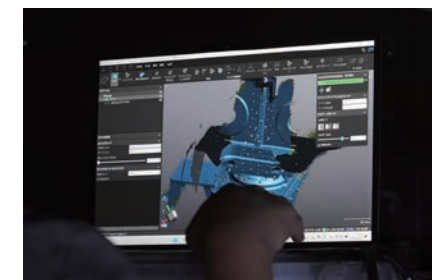
#### 1. ターゲット(目印)を設置

計測用ターゲットを設置します。



#### 2. 撮影

ハンディスキャナーで撮影します。



#### 3. データ出力

スキャンデータをもeshデータに加工し、必要なCADデータに変換させます。

## ■ 企業情報

会社名	株式会社トラスト
法人設立	1996年(平成8年)9月
資本金	20,000,000円
所在地	本社 〒650-0044 兵庫県神戸市中央区東川崎町1丁目3番3号 神戸ハーバーランドセンタービル20階  [代表] TEL:078-515-6788 FAX:078-515-6789
建設業許可番号	国土交通大臣 許可(特-5) 第23173号
従業員数	35名
取引銀行	みなと銀行本店営業部 大阪信用金庫茨木支店 三井住友銀行茨木西支店
加入登録	労働保険(下請け含む) 建設業退職金共済制度 請負業者賠償責任保険
ISO認証取得	登録内容 ISO45001:2018・JISQ45001:2018 ISO9001:2015・JISQ9001:2015 ISO14001:2015・JISQ14001:2015
登録番号	ISO45001:MSA-SS-451 ISO9001:MSA-QS-4931 ISO14001:MSA-ES-1924
登録日	ISO45001:2020.12.25 ISO9001:2010.7.7 ISO14001:2013.1.28
適格請求書発行 事業者登録番号	T9120901002652



ISO認証取得(本社・大阪支店・東京支店・滋賀支店)



## ■ 沿革

1994年 (平成6年)	谷口工業を創業
1996年 (平成8年9月2日)	有限会社谷口工業として法人設立
1997年 (平成9年12月10日)	有限会社トラストに商号変更
2002年 (平成14年2月28日)	株式会社トラストへ組織変更
2002年 (平成14年4月19日)	大阪府知事許可取得
2006年 (平成18年11月29日)	アンカー引張試験機 レンタル・開発・販売の開始
2009年 (平成21年3月3日)	東京支店設置
2009年 (平成21年7月30日)	国土交通大臣許可(般-21) 第23173号 許可取得
2010年 (平成22年7月7日)	ISO9001 認証取得
2013年 (平成25年1月28日)	ISO14001 認証取得
2014年 (平成26年3月10日)	災害時建設事業継続力 (BCP)の認定取得
2014年 (平成26年10月20日)	東京ショールームオープン
2016年 (平成28年)	TR-75 変位測定器の追加
2018年 (平成30年5月23~25日)	JECA FAIR 2018 (第66回電設工業展)に出展
2019年 (平成31年1月11日)	本社を兵庫県神戸市に移転 国土交通大臣許可(特-30) 第23173号 許可取得
2019年 (令和元年8月8日)	TR-PⅡ発売
2020年 (令和2年4月17日)	アンカーせん断試験機(TS-05) レンタルの開始
2020年 (令和2年12月25日)	ISO45001認証取得
2022年 (令和4年6月17日)	滋賀工場設置

